



小さな声に耳を傾け
市民の目線を大切に!

市民連合 まさひろ

山本昌宏



Masahironowa

連絡先
山本昌宏 市議会議員事務所
〒733-0815 広島市西区己斐上4丁目11-14
電話/FAX 273-4439
メール masahironowa@sky.megaegg.ne.jp

議会控室
市民連合
〒730-8586 広島市中区国泰寺町1丁目6-34
電話 504-2444 FAX244-6063



子育て支援・市民の健康づくり

9月定例会で一般質問に初登壇!



本会議場で一般質問



厚生委員会で広島修道院を視察

今年4月に行われた第18回統一地方選挙で、皆様のご支援で広島市議会へ送り出して頂き7ヶ月、会派は市民連合で厚生委員会、都市活性化対策特別委員会に所属し活動を行っております。市民連合を代表し一般質問した主な質問を掲載しました。

子育て支援の充実
質問事項(山本昌宏)
乳幼児医療費補助の所得制限は、むしろ引き上げて広く乳幼児の健康を守る方向で補助対象年齢の引上げが必要ですが、どのような方向で進められますか。

回答(健康福祉局長)
乳幼児医療費補助については、他都市の状況等を踏まえたとき、本市における子育て環境を充実させるといふ観点から、その対象年齢を拡大していかねければならないと考えています。そのため、本事業については、今までも「医療費負担の激変や乳幼児の健康面に配慮しつつ所得制限及び一部負担金の見直しと対象年齢の拡大を行う」という基本的な考えを示しつつ検討を続けているところですが、対象年齢の拡大の範囲については、その設定に際し、所得制限のあり方や、県の補助制度との関係等を踏まえた一部負担金のあり方等について、より詳細な検討を行う必要があります。現在、鋭意検討を進めています。

地域介護予防拠点整備促進事業は、これまでの地域包括支援センターが行ってきた介護予防教室とどのように違うのか。また、スムーズに事業を軌道に乗せる為には、ある程度多種多様なプログラムを用意し、地域の高齢者の方々が選択できる方がよいと考えます。

回答(健康福祉局長)
地域包括支援センターは、簡単な体操やストレッチなどの運動を奨励する介護予防教室を地域において随時開催してきました。新しい事業は、公民館等において、こうした介護予防に効果のある運動を継続的に行なうことができるよう支援する事業です。議員ご提案のような多種多様なプログラムが参加者の意欲の向上にも繋がることから、各地域の専門職等の協力を得ながら複数の運動・口腔ケア・認知症予防プログラムなど、多様な選択肢を用意していきたいと考えます。



子ども見守り活動

市民の健康づくりについて
質問事項(山本昌宏)
平均寿命は、全国平均に比べ高いが、健康寿命が低い。健康寿命の延伸に向け、運動分野について、これまでの取組と今後どのように取組むのか?



回答(健康福祉局長)

健康づくり計画「元氣じゃけん2(第2次)」において「身体活動・運動」を健康づくりの基本要素の1つとして位置づけ、誰でも手軽にできる健康ウォーキングを推進し保健センターで実施する各種教室を通じて、運動習慣の確立・定着を促しています。また、健康づくりに取組む自主グループや地域団体等と協力して、運動に取組やすい環境づくりに努めています。

今後は、議員ご提案の「ラジオ体操指導士」の活用、健康器具のある公園を記載したウォーキングマップの作成に積極的に取り組むなど運動による健康づくりを一層推進し、健康寿命の延伸につなげていきたいと考えています。

質問事項(山本昌宏)



アストラムラインの延伸・JR西広島駅北口まちづくり 懸念事項・今後の進め方を問う

アストラムラインの延伸大丈夫？

質問事項 (山本昌宏)

市長は6月定例議会でアストラムラインをJR西広島駅まで延伸する方針を示されました。己斐のまちづくりにむけても大きなインパクトのある事業であり、地元も大いに評価しているところですが、これまでの説明でも己斐地区についてはアストラムラインの駅が出来ることで開発ポテンシャルがより一層向上するとともに、土地利用の更新や土地の有効利用などが期待できるとしています。

アストラムラインの整備・開業にあたって、効果をより高めるための方策として、全区間の開業時期に影響しない範囲と前置きがあり、広域公園駅から石内東開発地までの区間の段階整備による部分開業と示されています。

段階整備をするとなると2段階の整備として受け止められ、己斐地区の事業が二の次になってしまうのではないかと懸念しております。石内東開発地までの部分開業した段階で財政的な理由からJR西広島駅までの整備を中断、凍結する事態も可能性としては考えられます。この事業は広域公園駅から西広島駅までの不可分一体の事業であると認識しておりますが、どのようにお考えでしょうか？また、JR西広島駅まで一気に整備するのではなく、石内東開発地まで部分開業することによるようなメリットがあるのでしょうか？お答えください。

回答 (道路交通局長)

アストラムラインの延伸は、広域公園前駅から西広島駅までの区間について、一体的に事業認可を取得して整備することになっています。このうち、広域公園前駅から石内東開発地までの区間については、己斐地区と比較して用地買収の件数が大幅に少ないことから、事業の早い進捗が見込まれます。早期に工事を完了できると考えています。この区間を先行開業すれば、早期に整備効果が発現できるとともに、広島高速交通(株)の経営への好影響も期待できることから、6月の事業化の判断において、部分開業というお考えをお示したものです。今後の事業着手に向けて必要となる調査・設計・環境影響評価・都市計画決定・軌道法の法手続き等に取掛けることとしており、その中で、具体的なスケジュールを確定させていくこととなります。



JR西広島駅北口のまちづくりについて

質問事項 (山本昌宏)

JR西広島駅は広島市の西の玄関でありながら、特に北口地区においては未だに車も満足に離合できないような道路状況であり、また、建物の老朽化や空き家の増加、住民の高齢化など、地区の課題は一向に解決されない状況です。この地区では過去に、それまで取組んできた土地地区画整理事業による検討を中止した経緯がありますが、昨年度から改めて関係権利者を対象に勉強会を再開いたしました。JR西広島駅周辺では南北自由通路の整備や駅の橋上化、南口広場の再整備といった交通結節点整備事業が平成30年代初頭の整備を目指して進められており、アストラムの延伸の方針も示され、地区の拠点性向上が大きく進むこととなりそうです。このような時期に市から再度北口地区まちづくりの勉強会の再開に取組まれたということは地元にとっても大いに期待するところであり、今回こそはその実現にむけて取組んでほしいと考えています。このまま住み続けたい」と住民の方の不安な声も聞こえてくるのも現状です。

市では勉強会の再開に加え、区画整理事業の実施に向けた詳細な検討を行うということですが、現在の状況と今後の見通しについてお聞かせ下さい。

平成30年代初頭を予定している南北自由通路や、南口広場の完成に合わせて行う必要があると思っております。

北口地区のまちづくりを検討されている区域内には、築36年の己斐公民館が含まれており、この公民館は老朽化していることや耐震補強がされていないといったことから、建替えを含めた検討が必要と考えます。そこで、公民館の建替えについてはどのように考えておられるのかお答えください。私は、この用地を平面的ではなく、立体的空間としてとらえ、市の先行取得した土地と合わせ、子育て世代の母親を支える環境、高齢者の安心して住める、地域の要望・ニーズにあった複合施設も検討し、機能強化も考慮した建替えを進めるべきと考えます。このことについては市に対し強く要望しておきます。

回答 (市民局長)

己斐公民館は、昭和53年に建設後、施設の老朽化、工率倍率が設置されておらず床面積850㎡と手狭で基準面積1,200㎡を満たしていません。都市整備局とも連携し、地元のご意見や事業の進捗状況等も踏まえながら、建替えも視野に入れ検討をしていきたいと考えています。



JR西広島駅ホーム



JR西広島駅北側・己斐公民館

回答 (都市整備局長) 昨年8月以降地元の方々と勉強会を重ねてご意見を伺い、勉強会でも出たご意見を踏まえ、今年度末には、事業計画の素案を取りまとめたいと考えています。

北口地区については、区画整理事業の実施に向けて検討を行っている段階ですが、JRや広島電鉄の電車、バス等相互の乗り換え利便性の向上を図るため、現在行われている南北自由通路や南口広場の完成に合わせて、北口駅前広場と県道伴広島線を結び道路が整備出来るよう取組みたいと考えています。